

フランス歌曲の真髓を探る

フォーレの歌曲の歌い方・聴き方

講師 作曲家・音楽評論家 野平多美

フォーレの「優しき歌」を中心に、実演を交えながらフォーレの歌曲について詳らかにする講座。ヴェルレーヌの詩との関連にも触れ、フォーレの作曲語法を紹介しつつ、フォーレの歌曲のエッセンスを解説。そして、演奏に必要なこと、鑑賞のためのいくつかのアドバイスを話します。フランス音楽はとっつきにくいとか、フランス歌曲は聴く機会がなくて馴染めない、という方々から、フランス音楽を演奏している歌手やピアニストの方々にも改めてその魅力をお伝えしようと考えています。フォーレと言えば「レクイエム」ですし、「レクイエム」のフォーレらしさは、歌曲にももちろん通じる場所がありますので、部分的に言及する予定です。フランス音楽に近づくチャンスと思って、ぜひご受講ください。



演奏：駒井ゆり子(ソプラノ)、須関裕子(ピアノ)

※演奏者のプロフィールは裏面記載

<講師紹介>・野平多美(のだいら・たみ) 国立音楽大学を卒業後、フランスに渡り、パリ国立高等音楽院において作曲理論各科を卒業。1990年に帰国。国立音楽大学講師、東京学芸大学講師を経て、現在、お茶の水女子大学非常勤講師。2005年よりアフィニス文化財団研鑽助成委員、18年6月よりアフィニス文化財団理事を務めている。日本フォーレ協会、日本ベートーヴェンクライス会員。作曲家としては、ギターのための「Water drops」(2017/CD・NAXOS「福田進一・日本のギター音楽No.4」に収録)、絵本と音楽の会「ぐるんぱのようちえん」(作曲、音楽構成2016)ほか作・編曲を多く手がけている。音楽評論家としては、「音楽の友」ほかで健筆を揮うほか、トッパンホールの企画アドバイザー(1999~2001)、軽井沢の音楽祭などで都内の演奏会の公演企画に携わり好評を得ている。2018年には、野平一郎作曲・室内オペラ「亡命」の台本を書き下ろし話題になった。主要著書は「魔法のバゲット ~ マエストロジャン・フルネの素顔」(全音楽譜出版社)、「フォーレ音楽作品集」(共著/同)などがある。

日 時 2019年 11/16 1回

土曜日 13:30 ~ 15:00

受講料 会員 3,300円(入会金は5,500円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

一般 3,960円

※入会金・受講料・教材費等は消費税10%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新
宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内私書箱22号
tel 03-3344-1945
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>